

令和4年度 学校評価自己評価表

評価（A：実施できた B：どちらかといえば実施できた
C：どちらかといえば実施できなかった D：実施できなかった）

【教務部】

教務部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ① 授業時数の確保に努める。	(1) 曜日毎の実施授業時数を定期的に確認し偏りがある場合は、授業曜日の振り替えを行うなどして授業時数の確保に努める。	A
	② 新学習指導要領を研究し、適切な教育課程編成に努める。	(1) 教育課程検討委員会を定期的に開催し、本校の将来を見据えた教育課程の編成に努める。 (2) 進路指導部と連携し、大学入試変革等の情報収集に努め、適切な教育課程を編成する。	A B
	重点目標 2 ① 部活動や生徒会活動の活性化を図るための環境作りに努める。	(1) 部活動や生徒会活動が活発に行われるよう、教育計画を整備・工夫する。 (2) 生徒が行事の企画・運営に積極的に関わることを支援し、主体性の育成に努める。 (3) H P を積極的に活用し、生徒の活躍を全校生徒・保護者に周知する。	A B B
	② 効果的に学校行事を実施する。	(1) 目的を明確化し、生徒にとって充実した学校行事を実施できるように努める。 (2) 行事实施後に全職員に反省・意見を求め今後の行事計画に生かす。	B B
	重点目標 3 ① 中学校や地域に対する広報活動の充実を図る。	(1) 中学校訪問や学校説明会等を効果的・効率的に実施し、女子校としての特色・魅力の発信に努める。 (2) 学校案内やH P を活用し、本校の実績や取組、本校が目指す方向性等について、中学校や地域へ広く発信する。	A B
	その他の目標 ① 危機管理を徹底する	(1) 生徒が安全安心に学校生活を過ごせるように生徒指導部や健康安全指導部と常に連携を図り、教育環境を充実させる。	A
	② 校務用データを整理し、情報の共有化を強化する。	(1) 校務用データの各部・各学年等のデータの整理方法を統一するなど、すべての職員が必要な情報をすぐに利用できるよう改善する。	A

【学習指導部】

学習指導	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①授業を第一に考え、主体的・対話的深い学びの実現に向けて授業改善に努める。	(1)シラバス・定期試験範囲などを用いて、生徒が計画的・効果的な学習法を定着できるようにさせる。 (2)定期テストなどを通し、基礎学力の定着と向上を図れるよう指導する。 (3)探究的な学びの実践につなげる。	B A B
	重点目標 2 ①読書の推進 ②心豊かな生徒を育成する、	(1)「図書館便り」、図書館報、「私の薦める一冊の本」、読書会などを通して読書啓発に努める。 (1)各種教育において、目的を周知しその目的を生徒に定着させるようにする。	A A
	その他の目標 ①個々の生徒に応じた学習指導に努める。	(1)授業の様子、テストなど個々の生徒に応じた学習指導ができるよう、各部・各学年・各教科と連携する。	B

【情報管理部】

情報管理	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 1 ① ICT 活用の基盤を整備する。	(1)必要となる周辺機器や物品の把握し、円滑な利用を促す。 (2)適切な使用方法・場面・場所を提示する。	A
	重点目標 3 ①学校ホームページの更新を促す。	(1)HP についての講習会など教職員への研修を充実させる。 (2)学年行事の担当者だけではなく、他分掌と連携し、各種行事の HP 掲載者を明確にする。	B

【生徒指導部】

生徒指導	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 2 ①委員会活動を推進し、生徒が主体的に自律した生活を守ろうとする態度を育成する。	(1)生活委員会のあいさつ運動を通して、挨拶の励行、遅刻の防止に努める。 (2)交通委員会の活動や交通安全運動を通して、交通安全意識を高め、交通事故ゼロを目指す。	A A
	重点目標 3 ①集団や社会の一員としての自覚や責任ある態度及び規範意識の育成を図り、地域から信頼される学校づくりを行う。	(1)容儀指導の徹底を図るなど、規則を遵守する態度の育成に努める。 (2)集団活動を通して責任ある行動を促す指導の徹底を図り、生徒の自主性、社会性の育成に努める。 (3)自他の尊重、人権感覚及び生命尊重の精神の育成に努め、いじめゼロの学校を目指す。	A A B
	その他の目標 ①日常生活における危険を理解し、危機回避能力、自己管理能力を育成する。	(1)情報モラル講話などを通して情報モラルについての理解を深め、SNS などによるトラブル防止に努める。 (2)交通防犯講話などを通して事故や犯罪に巻き込まれないための適切な行動を理解させ、被害防止を図る。 (3)自己管理の徹底を図り、盗難防止に努める。	A A B
	②教育相談体制の充実を図る。	(1)面接指導の充実を推進するとともに情報の共有化を図り、チーム対応の徹底に努める。 (2)特別支援教育研修会を実施し、特別支援教育の推進に努める。 (3)教育相談研修会を実施し、教員の理解を深める。	A A A

【特別活動部】

特別活動	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 2 ①生徒会活動の一層の活性化を図り、充実した学校生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育成する。	(1)生徒総会や中央委員会を通して、生徒の意見や考えを掌握し、学校生活に反映させる。	B
	重点目標 3 ①生徒の活動状況の外部へのPRを充実し、本校の特色・魅力の発信に努める。	(1)ホームページの更新頻度を高め、生徒の活動や本校の特色・魅力を随時発信する。	B
	その他の目標 ①学校行事及び部活動を通して、集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動できる生徒を育成する。	(1)行事や部活動の意義を明確に示した活動目標・活動計画を作成し、各活動の実践をする。	B

【健康安全指導部】

健康安全	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 1 ①心身の健康に関する自己管理能力を育成を図る。	(1)時期を考慮した健康情報を発信し、知識を深めることにより自己管理能力の育成を図る。 (2)各種保健に関する委員会を通じて、生徒の実態に即した健康教育を推進する。	B B
	重点目標 2 ②環境美化活動に積極的に取り組む態度の育成を図る。	(1)清掃を徹底させるとともに、ゴミの減量化、リサイクル率の向上を図る。 (2)美化委員会を中心に、花壇・プランターを適正に管理する。また、季節により枯れ葉の処理を徹底し校舎周辺の環境整備にも配慮する。	B A
	重点目標 3 ③災害発生時における危険を理解し、適切な判断の下行動できる能力の育成を図る。	(1)学校・家庭・地域の防災活動の情報を理解し、自己の命を守り、地域の支援活動にも協力できる能力の育成を図る。	B

【進路指導部】

進路指導	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 1 生徒の進路希望を実現させるための各学年・教科への支援を行う	①進路に対する意識を高め、満足 of いく進路選択ができるよう情報の提供と企画の運営に努める。 ②しっかりと目標に向かっていけるよう、自己の適性や進学先の魅力を知る機会を増やすよう努める。	B
	重点目標 2 安定した指導体制の構築をはかる	①業務内容の明確化・資料の利便性の向上をはかり、指導の効率化に努める ②各学年と進路部の意思の疎通を図り、経験の共有を図る	B

【渉外部】

渉外部	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 3 ① 渉外部関連事業を安全に行い、社会から信頼される学校づくりを行う。 ② P T A活動を効果的に P R し、魅力を発信する。 ③ 同窓会活動を効果的に P R し、魅力を発信する。 ④ 地域と学校の連携した取組を安全に行い、社会から信頼される学校づくりを行う。	(1) P T A ・同窓会と学校の連携を強化する。 (2) コロナを考慮し、渉外部関連事業を安全に実施する。 (1) P T A新聞の内容を充実させる。 (2) コロナを考慮し、P T A活動を安全に行い、H PでのP R内容を充実させる。 (1) コロナを考慮し、同窓会活動を安全に行い、H PでのP R内容を充実させる。 (1) コロナを考慮し、地域と学校の連携した取組を安全に実施する。	B B B B B

【1 学年】

1 学年	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 1 ① 計画的に学習する習慣を確立させる。	(1) 計画的に学習させるための指導を継続する。 ア 生徒手帳の活用などを通して、「予習－授業－復習」のサイクルによる学習を励行する。 イ テストごと、学期ごと等の復習により基礎力を強化させる。	A A
	重点目標 2 ① 主体性、社会性ある生徒を育成する。	(1) 部活動への加入を積極的に勧めるなど、生徒がともに学び合い、高め合う環境をつくる。 (2) 生徒に責任感をもたせるために、委員・係や週番等の仕事を全うさせる。	B A
	重点目標 3 ① 学年の情報を適切に発信する。	(1) 時宜を得た学年のH Pの更新を行う。	B

【 2 学年】

2 学年	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 1 ①主体的に学び、確かな学力を身に付けさせる学習指導を実践する。	(1)予習・復習を徹底させ、授業中心の学習習慣の深化を図る。 (2)学力レベルに応じた指導展開を工夫することで、各教科における基礎力・応用力の強化を図る。	B
	重点目標 2 ①主体性、社会性ある生徒を育成する。	(1)学校行事や集会等を通して、共に学び合い、集団に貢献しようとする生徒を育成する。	A
	重点目標 3 ①学年の取組の情報を適切に発信する。	(1)学年のHPを適切に更新し、状況を広く伝える。	B
	その他の目標 ①充実した学校生活を送るための基盤づくりをする。	(1)面談等を通して、生徒からの相談に適切に対応し、自己管理能力を向上させる。	B

【 3 学年】

3 学年	努力目標	具体的な取り組み	
	重点目標 1 ①全生徒の希望進路を実現させる指導を実践する。	(1)授業中心の学習習慣を継続させ、学習基盤の完成を図る。 (2)課外等において学力レベルに応じた指導展開を図り、進路実現に向けた深い学びを推進する。	B B
	重点目標 2 ①社会に貢献できる生徒を育成する。	(1)リーダーシップを発揮し、主体的に集団に貢献する姿勢の更なる涵養を図る。 (2)自他を尊重し、互いに高め合う人間関係を構築する姿勢の涵養を推進する。	B B
	重点目標 3 ①学年の取組の情報発信をする。	(1)学年のHPの適宜更新により、状況を広く伝える。	B
	その他の目標 ①充実した学校生活を送るための基盤を完成させる。	(1)生徒・保護者との時宜を得た面談・個別指導等の実施によって、希望進路を実現すべく援助を図る。	A

【国語科】

	努力目標	具体的な取り組み	評価
国語科	①進路希望を実現するために、正確な読解力・表現力を高めることを目指した指導を工夫する。	(1)予習・授業・復習それぞれが持つ学習の意義を踏まえた、自主的・計画的・継続的な学習習慣を身につけさせる。 (2)諸教材の有機的関連づけ等を通して探究的な学びを実践し、広い視野・深い洞察に基づいた理解力と表現力の育成を図る。	A A

【地歴・公民科】

	努力目標	具体的な取り組み	評価
地歴・公民科	①社会への関心を高めるとともに、主権者としての自覚を持たせ、主体的に生きる資質を養う。	(1)新聞・ニュース等を活用し、現代の諸課題への意識を高める。	B
		(2)対話・考察を通し、主体的に諸課題を解決する態度の育成を図る。	B
	②知識の理解・思考の深化をより一層はかる。	(1)学習内容の理解や考察の深化をはかれるよう、授業を工夫して行う。	B
		(2)ICT 機器を効果的に活用できるよう各科目において、準備・研究を進める	B
	③進路実現のために、入試に適切に対応する。	(1)資料の読解を通じ、多角的・多面的な思考力・判断力・表現力を育成する。	B
		(2)難関大学の受験に適応した指導方法の研究を進め、個別学力試験に対応できる応用力を育成する。	B

【数学科】

	努力目標	具体的な取り組み	評価
数学科	①知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力を育成する。	(1)学習サイクル(予習→授業→復習)を確立させ、課題プリントや問題集等の活用を工夫することで、基礎学力の定着を図るとともに思考力・判断力・表現力を向上させ、進路実現につなげる。 (2)単元テストによって既習事項の定着状況を確認させるとともに、校内模試・校内学力テストによって個別学力試験に対応できる応用力を育成する。 (3)新課程における観点別学習状況の評価についてまとめ、システム化を図る。	B A B
	②大学入試へ適切に対応する。	(1)入試問題を研究し、それらを活かした授業や問題作成等により生徒の進路実現につなげる。	A

【理科】

	努力目標	具体的な取り組み	評価
理科	重点目標 1 ①教科指導の充実	(1)授業等において、現在の学びと将来の学びとの繋がりに触れ、進路に対する意識を喚起するとともに、教科面談を取り入れた丁寧な教科・進路指導を行う。 (2)ICT の使用状況や方法について情報共有し、授業観察や研修等を通して（年5回以上）、より効果的な ICT の活用法を身につける。	B B
	②実験・観察における危機管理及び教育環境の整備	(1)実験・観察等に発生する事故等を予防するために安全指導を徹底して行う（実験室の備品等の扱い方、実験・観察時の服装・頭髮の指導など。）	A
	③高大連携等の充実	(1)高大連携等の活用により、科学への興味関心を喚起し、より深い学びの実践と進路学習の深化を行う。	B
	重点目標 3 ①理科教育の取組状況の外部への PR	(1)校内外での理科教育に関連する取組の状況を、HP を通して外部へ発信する。	B

【保健体育科】

	努力目標	具体的な取り組み	評価
保 健 体 育 科	重点目標 1 ①課題解決学習と技能の向上を図る。	(1)単元テストの評価基準を提示することにより、生徒が課題を発見し、解決方法を工夫できる授業を実践する。	B
	①基礎的な健康に関する知識を習得させる。	(1)保健ノートの活用及び ICT 教材を活用し、自らの健康を高めようとする意欲の向上を図る。	B
	重点目標 2 ①運動部活動の支援をする。	(1)生徒の体力・技能向上のための協力体制を確立する（新体力テスト結果の活用）。	B
	①「とちぎ国体」を通じ、地域や外部の機関との連携を図る。	(1)地元開催の国民体育大会に興味関心を持ち、地域との連携を図り、生徒の主体性や社会性を育成する。	B

【芸術】

	努力目標	具体的な取り組み	評価
芸 術 科	重点目標 1 ①基礎的な知識、技術・技能の定着を図る。	(1)個々の生徒の技術・技能の基礎力の把握に努め、個に応じた指導、トレーニングの工夫を行う。 (2)基礎事項に重きをおきながら、発展的な内容を涵養する。	B B
	重点目標 1 ①芸術の幅広い活動を通して、感性を高め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を養う。	(1)様々な活動を吟味し、数多く体験させる。 (例：作品発表、演奏発表など) (2)教科の生涯学習的な性格を念頭に、幅広い教養と豊かな感性を涵養する。	A A

【英語科】

	努力目標	具体的な取り組み	評価
英語科	重点目標 1 ①生徒の興味・関心を喚起し、基礎的な知識・技能を定着させ、さらに思考力・判断力・表現力を育成する。	(1)ICT 等を活用し、「聞くこと」や「読むこと」の言語活動において、オーセンティックな教材を活用することで、言語活動を充実させ、基礎事項の定着を図る。 (2)ICT を活用し、共有フォルダを使用するなど、語彙や表現、話し方などを主体的・対話的に学ぶ機会を提供することで、思考力・判断力・表現力を向上させる。	B B
	②大学入試や外部検定試験に適切に対応する。	(1)大学入試問題や外部検定試験に向けての個別学習指導を充実させることで、英語力を伸長させ、個々の進路実現につなげる。	A

【家庭科】

	努力目標	具体的な取り組み	評価
家庭科	重点目標 1 ①体験的な学習活動や思考を深める学習活動を通して、生活を創造する力を身に付けさせる。	(1)対話的な学習活動を中心とした授業実践に取り組み、持続可能な社会の実現に向けて、意思決定力を育成する。 (2)自己の課題を明確にし、工夫して課題解決に取り組む力を育成する。	B A
	重点目標 2 ①学校家庭クラブ活動を通して、生徒の主体性や社会性を育成する。	(1)地域の諸課題に関心を持たせ、社会の一員としてその解決に参加しようとする態度を育成する。	B
	重点目標 3 ①学校家庭クラブ活動のPRする。	(1)学校家庭クラブ活動をHPなどを通してPRする。 (2)学外の諸機関や事業所等と連携した、家庭クラブ活動を実践する。	A A

【情報科】

各教科	努力目標	具体的な取り組み	評価
情報科	①情報社会の一員としての基礎技能及び態度の育成	(1)以下の力の育成を目指す。 ・適切に情報機器を活用する技能と態度 ・通信ネットワークの活用の仕方 ・プログラミング	B